



たのしい水あそび

6月定例会

P2~3 追加補正
危険ブロック塀撤去へ

P6 議決事件条例制定

P7~15 一般質問 村政に **喝**

P16~17 村民インタビュー

「子ども安全見守り隊」のみなさん

危険ブロック塀 撤去へ

6月定例会

今定例会は、6月11日から22日の12日間の会期で開きました。提出された議案は、条例の一部改正・補正予算・村営住宅工事請負契約の7件、議員発議3件すべて原案どおり承認、可決しました。

一般会計補正

854万円の減額補正

〈主な歳入〉

- ◆ 住宅費補助金 △980万円
- ◆ 道路橋梁費補助金 △575万円
- ◆ 村債 970万円
- ◆ 教育費補助金 23万円

〈主な歳出〉

- ◆ 県営農村地域防災減災事業負担金 264万円
- ◆ 橋梁補修工事 △1400万円
- ◆ 保育所等建替検討委員会報酬 15万円

Q 住宅費国庫補助金980万円

減額の説明を。

A 社会資本整備総合交付金を使った村営住宅工事費の補助金を見込んでいたが、全国からの要望が多く、配分が少なくなった。不足分は地方債の借入れで対応する。

Q 農地費264万円を計上、海川排水路の工事の説明を。

A 当初、予定していた額をこえる予算が付いたことで、海川排水路矢板などの補修が必要な箇所を、前倒しで実施する。

Q 保育所等建替村民検討委員会報酬15万円は何名分か。

A 公募の委員、関係機関からも出していたが、報酬支払い対象者を10人と考えている。

委員会開催は5回計画している。

Q 教材備品購入234万円の説明を。

A 理科の顕微鏡を購入予定。当初、村単独費で6台を2カ年で購入する予定だったが、国の予算が付くことになった。2分の1が補助ということとで6台を追加した。



▲海川排水路 矢板

追加
補正

365万円 迅速対応

大阪北部地震を受け



270万円
(公共下水道会計)

浄化センターコンクリートパネルの通路に面した部分を撤去



95万円
(一般会計)

保育所園庭のブロック塀を撤去し、フェンスを設置

日吉津村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部改正

Q 条例改正の説明を。

A 学歴に関係なく、5年以上働いていた方を対象とするなど、支援員の資格要件を明確にし、対象者の拡大を図るといふもの。



▲楽しいゲーム中 (児童館)

日吉津村税条例の一部改正

Q 非課税の範囲が変わるが、国保税などへの影響は、最小限になるかと考えている。

A 加熱式タバコの喫煙具は課税の対象になるのか。課税対象に含まれている。

専決処分

日吉津村税条例等の一部改正で ここが変わります

- たばこ税率の引き上げ
(H30年10月1日から3段階で引き上げ)
1,000本当たり5,262円→
H30年10月より5,692円
※電子たばこ及びその機器も引き上げられます。
- 日吉津村国民健康保険税条例の一部改正
 - ・医療分に関する基礎課税額の限度額を54万円から58万円 (中間層の方が対象)
 - ・低所得世帯のうち2割軽減・5割軽減の対象とする世帯の所得判定基準を引き上げる (対象が増える見込み)

陳情
審査

第
1
号

地方財政の充実・強化を求める陳情

【陳情者】自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生

〔採択理由〕

基金を理由に、地方交付税の減額や、社会保障費の減額をやめること。法定率の引き上げに向け、継続して意見書を出すべきだ。

採
択

第
2
号

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

【陳情者】移植ツーリズムを考える会 理事 井田敏美

〔不採択理由〕

臓器移植希望者の数値が不明確である。データが確実なものか信ぴょう性に乏しい。趣旨が不明確であり陳情内容が実態と一致しない。

不
採
択

休会中の活動報告

総務経済常任委員会 5月16日 南部町：農産物加工施設・保育所



農産物加工施設めぐみの里は、村のふれあい生活館と規模や利用の実態は違うが類似した施設でした。生産者の高齢化により、利用が下降気味で現在、指定管理制度でジョカが運営を行っています。村のふれあい生活館も、今後の活用についての検討が必要です。



本村の保育所建替えにあたり、子育てゾーンの複合施設のあり方・財源などについて視察を行いました。町立すみれこども園は、木材をふんだんに使用し、広くゆったりとした空間があり、いろいろと工夫されていました。

重要なことは、倉庫の広さと空調設備が大事であることを説明されました。

教育民生常任委員会 5月10日 介護保険制度の課題を研修



南部箕蚊屋広域連合の住田事務局長から介護保険制度の概要と第7期介護保険事業計画について説明を受けました。

介護保険料基準額の推移は以下のとおりです。

第1期	3,176円	第5期	4,850円
第2期	4,150円	第6期	5,417円
第3期	4,350円	第7期	5,917円
第4期	4,448円		

熊野町議会 (広島県) 来村!

広報広聴常任委員会

議会ひえづNo.148が、全国町村議会広報コンクール表彰を受けた(編集・デザイン部門で奨励賞)こともあり、視察を受けました。

以前は、全国表彰常連の他町を視察する際に来られるようでしたが、今回はわざわざ、日吉津村議会に来ていただきました。



女性議員の人数が多いと、男女共同参画が進んでいる議会ですねと感想をいただきました。

予算について

問 平成20年から印刷予算が半分になった理由は。

答 それまで随意契約だったのを見積もり入札にし、印刷会社を変更したため。

問 印刷製本以外の予算確保は。行政視察旅費として計上。

一般質問について

問 1人1ページとした経緯と、編集方針について。

答 経緯は不明だが、質問した全議員のバランスを図るためと思われる。

問 レイアウト・字数は決まっているので、それに沿い編集している。レイアウトは写真を大きくし、文章も読みやすく、村民にわかりやすく考えている。



委員の人数について

問 委員が5人で大変なように思えるが、増員する考えはないか。

答 ずっと5人で、事務局と協力してやってきたので、このままが良いと思う。

今後、だれが広報委員になっても困らないように、指針やマニュアル本も作っており、1年に1度、見直しをすることになっている。

住民対応について

問 自治会に未加入の世帯にも、配布は配布なし)

答 自治会をとおり配布している。

問 村民からの感想や意見は、どういう方法で聞いているか。

答 アンケート等の話は出ているが、実施はしていない。

村のイベントの時に記入してもらう・議会報に差し込むなど、よいやり方を考えている。村民インタビューの時には「読んでいる」という声が多い。

今後も、全国の議会から視察に来てもらえるよう、また、村内でも多くの方に読んでいただける議会ひえづを作っていくたいと思います。

発議第2号

「日吉津村総合計画」を 議決すべき事件として条例制定



制定の理由

平成29年4月1日から日吉津村議会基本条例を、同年10月1日から議会議員政治倫理条例を施行している。

今議会において、「日吉津村総合計画」を議会議決事件として追加することを全会一致で発議・制定した。

追加議決事件は、地方自治法第96条第2項により、議会基本条例第16条（議決事件の追加）で定めている。

施行日は、平成30年7月1日。

《総合計画とは》

地方自治体が策定する自治体のすべての計画の基本で、行政運営の総合的な指針となる計画

賛成討論 井藤 稔 議員

議会基本条例・議員倫理条例・議決事件条例の制定は議会改革の出発点である。

今後、各条例を運用していかねばならない。

- ・活用を具体化する
- ・改革推進の目的を明確にする
- ・外部評価システムの活用
- ・議会、行政が一体となった共同推進体制の構築
- ・議員は、村民の代表者であることを再自覚すること

日吉津村議会の議決すべき事件に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、日吉津村議会基本条例（平成29年条例第17号）第16条第2項の規定に基づき、議会が議決事件として追加することができる事件について定める。

(追加する議決事件)

第2条 追加する議決事件は、推進が相当の期間にわたること、広範囲の所管にわたること、村民生活に大きな影響を与えることなどを要件として次のとおり定める。

(1) 日吉津村総合計画（基本構想及び基本計画）

(議会の議決)

第3条 村長その他の執行機関は、前条に掲げる計画の策定、変更又は廃止をするときは、議会の議決を経なければならない。

(議決事項)

第4条 第2条に掲げる計画の策定又は変更に係る議決事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 計画に基本理念、基本方針その他の基本となる事項
- (2) 計画に実施期間に関する事項
- (3) 計画に実施に係る政策及び施策並びにこれらの目標に関する事項

2 村長は、議会の修正協議に応じるものとする。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、議長が別に定める。

附則 この条例は、平成30年7月1日から施行する。

村

政

に

喝



【6月12日(火)・13(水)】

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	8	1. 役場庁舎にエレベーター設置を 2. 情報連携業務について今後の考えは 3. 公共施設等総合管理計画の考えは
加藤 修	9	1. 2号線に信号機を 2. 健康づくり・介護予防の現況は 3. セルフメディケーション税制創設の説明を
河中 博子	10	1. 高齢者が元気に暮らせる村に
松本二三子	11	1. ふるさと納税激減への対応は 2. 村での男女共同参画は
井藤 稔	12	1. 子ども安全対策見直しの必要性は 2. 議会改革推進への村長の姿勢は 3. 人事評価結果の処遇への反映は
三島 尋子	13	1. 高齢者を支える地域課題は 2. 臨時・非常勤職員の適正な任用を
江田 加代	14	1. これでよいのか小規模保育 2. 下水道使用料10%減免の継続を 3. 払える国保税施策の確立を
橋井 満義	15	1. どうする開発公社の土地交渉から30年 2. 農地管理の今後は

※通告順ではありません。



松田悦郎 議員

役場庁舎にエレベーター設置を

村長 **さまざまなか視点から検討したい**

Q 来庁される障がい者、妊婦、高齢者等住民の皆さんが正面から2階へ行くことができるエレベーターを設置すべきだ。

A 村長
バリアフリーの観点からも、エレベーターの必要を感じている。
これまでも3階議場

までのアクセスについて検討した経過はある。経費や設置場所等の課題があり、今の建物の構造を大きく変えないといけないし、今の構造ではエレベーターの設置はむずかしい。

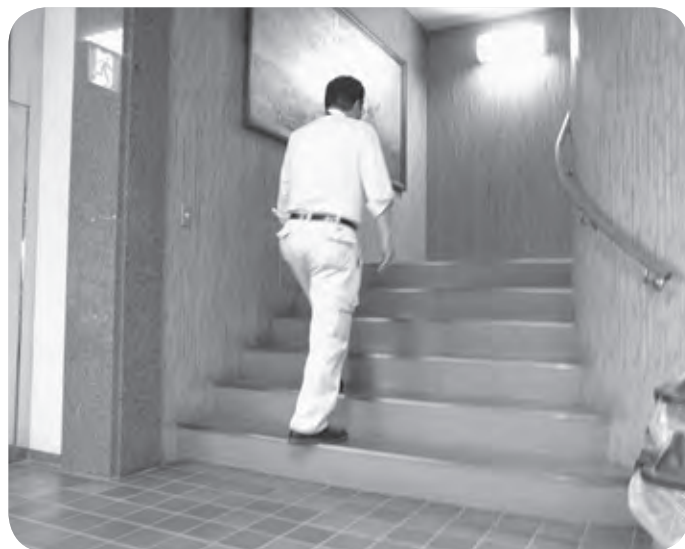
A 村長
マイナンバーカード連携業務は平成30年5月に社会保障審議会の医療保険部会より提出され現在の保険制度に、マイナンバー制度を活用し、個々の健康管理につなげるとしている。

ナンバーカードを実施するとしている。
今後の考えを伺う。

しかし、住民にやさしい役場を目指すためエレベーター設置をさまざまな視点から検討してみたい。

情報連携業務について
今後の考えは
村長 **県の指導のもと検討を進めたい**

今のところ県の方から具体的な制度の方向性はきていないが、県の指導のもと検討を進めたい。



▲庁舎内にぜひエレベーター設置を

Q 国民健康保険被保険者証の代わりとして使えるマイ

公共施設等総合管理計画の考えは
村長 **個別施策計画の策定を行う**

Q 公共施設等総合管理計画を公表された。

今後の考えは。
村長

A 公共施設、道路橋りよう、下水道等インフラ施設を適切に管理運営するため平成29年3月に作成した。

30年で大規模改修、60年で建替えという条件で更新費用132億円である。必ずこの額にはならないが大きな負担となる。
今後、総合計画を基本として財政措置も勘案し施設ごとに個別施設計画を策定し、より具体的な施設管理運営を定める。

公共施設更新費用40年間で76.4億円

村内19の公共施設一覧（村の資料より）

- ・ ヴィレステひえづ（公民館等）
- ・ ヴィレステひえづ（図書館）
- ・ 陶芸作業所・スポーツハウス
- ・ 民俗資料館・ふれあい生活館
- ・ トレセン・河川敷運動場
- ・ 小学校
- ・ 保育所・児童館・子育て支援センター
- ・ 社会福祉協議会・デイサービスセンター
- ・ 役場・役場車庫棟
- ・ 村営住宅
- ・ 海浜運動公園・観光漁協センター



加藤 修 議員

2号線に信号機を

村長 交差点改良は努力中



▲これくらいの標示でも車は止まりません

Q 2号線交差点
事故の現況は。

信号機設置の必要性
および設置についての
進捗よく状況を。

A

村長

・平成28年は
人身事故1件物損事
故4件。

・平成29年は人身事故
1件物損事故7件。

・平成30年1月～5月
まで物損事故4件。

交通量が多く依然と
して交通事故が発生し
ており、信号機設置の

必要性を感じている。
交差点改良について

は、関係者に対し、必
要な事項の説明を行っ
ており、必要性はご理
解いただいている。引
き続き努力していく。

Q

健康づくり・
介護予防の現況は
各種
取り組んでいる

まちの保健室事
業と、介護予防
事業の現況の説明を。

A

村長

村民の健康寿
命延伸を目指し、村の
健康課題報告、健康
チェックミニ講話、健
康相談等を行っている。
また、運動習慣づく
りや介護予防に開発し
たご当地体操のPRに
も取り組んだ。

介護予防事業の現況
は高齢者身体機能の維
持向上、認知症予防、
生きがい対策などに取
り組んでいる。

29年度実績は、ト
レーニング事業162
9人、転倒予防359
0人、生きがい活動1
362人、認知症予防
1364人、外出支援
サービス4949人。

Q

セルフメディケーション
税制創設の説明を
村長 自発的な健康管
理の促進から

セルフメディ
ケーション（自
主服薬）推進のための
スイッチOTC薬控除
（医療費控除の特例）
の創設の説明を。

A

村長

セルフメディ
ケーションはWHO
（世界保健機関）にお



▲セルフメディケーション税制って知ってますか

いて、自分自身の健康
に責任を持ち、軽度な
身体の不調は自分で手
当てることと定義し
ている。国民の自発的
な健康管理の促進によ
り、医療費の適正化に
もつながる。
手続きは確定申告。
特定健康診査等を受
け税控除対象マークの
医薬品を購入された方
くわしくは住民課ま
で。



河中博子 議員



▲イオン日吉津店

Q 流通大手のイオンが、シニア向け大型店を新設、あるいはシニア対応にリニューアルする計画がある。

行政として、積極的に働きかけてはどうか。

A 村長 イオンは、高齢社会の新しい取り組み

高齢者が元気に暮らせる村に 村長 健康寿命延伸事業で 健康増進を図る

みとして、さまざまな工夫を検討されている。

いる。

イオンモール日吉津店においても、モールウォーキングなど健康事業に取り組んでおられ、村としても健康ポイント事業の対象に加えるなど、連携を図っているところだ。

高齢者が健康でいきいきと生活するために、生活習慣病の予防や体力づくりだけでなく、社会参加と役割を持つことが大切だと言われており、その方向で進めている。

今後イオンに限らず、医療機関などと情報共有し、健康寿命延伸につながる取り組みを進めていく。

Q 健康ポイント事業で、昨年度20ポイント貯めた人は何人か。これをどう評価しているか。

Q 健康寿命延伸事業とは。

A 村長 昨年は12人。まだまだ少ない。取り組みも浅く、さらに周知を進め理解を深めていく。

A 村長 健康課題を解決するため、主に壮年期を対象に取り組んで

Q 今後どのような周知を行うのか。

A 福祉保健課長 ポイント事業については、多くのみなさんに「20ポイントいったよ」という達成感を持っていただくことが大事。

Q メンタルケアを加えた取り組みも必要ではないのか。

A 村長 メンタルケアについては、高齢者の実態を把握し、外出ができない、社会とのつながりがない方に対しては、地域包括支援センターや福祉保健課職員が個別に訪問し、必要なサービスや支援をおこなっている。

また、運動面ばかりではなく、検診とか予防教室、講演会への参加もポイントがつく。今後もどんだん枠を広げていき、あわせて皆さんに知っていただくよう努める。



▲活用したい健康ポイント手帳



松本二三子 議員

ふるさと納税激減への対応は

村長 サイトを増やす等利用しやすくする



▲ 寄付金はたくさんの本にも使われています

Q

ふるさと納税が鳥取県全体で、過去最高の受け入れ状況、という新聞記事を受けて質問する。

A

村長 ①総務省による、豪華返礼品の見直し要請の影響が大きい。また、返礼品として人気の松葉ガニ希望の寄付者が分散したり、地震のあった地域への寄付も多かったのでは。②ふるさと納税サイトの活用で、寄付額を伸ばした自治体もある。村でもふるさとチョイス以外のサイトの活用も検討している。

Q 日吉津村男女共同参画推進条
例が施行され、10年が経過した。

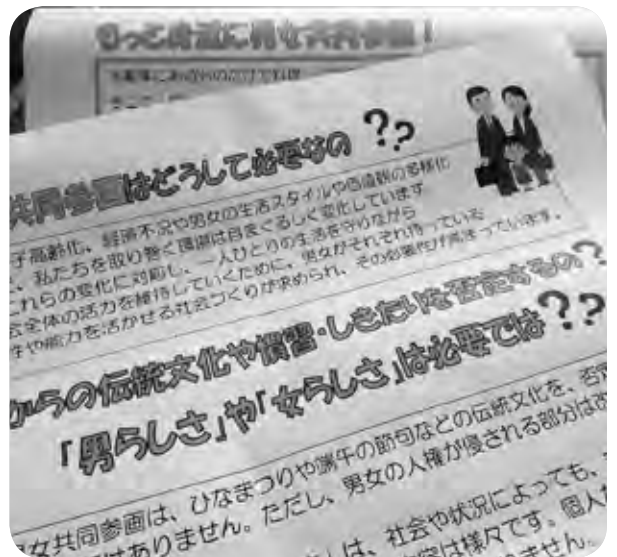
村長 **女性の活躍を推進していく**
村での男女共同参画は

村のPRも考え、多くの地場産品を返礼品にと考えるが、村独自のものはむずかしい状況。
若い世代に配慮して新しく季節のミックスドライフルーツを加えたが村独自のものではない。
③現在でも大山Gビールを返礼品としているが大山ブランドといっても大山のつくものというわけではない。村では松葉ガニをと、考えている。
全国に発信するので、寄付額増加になるかも知れない。

現状について伺う。
①村の審議会や委員会での、男女の割合は。
②毎年の男女共同参画週間(6月23から29日)に合わせて、イベントなどは考えているか。
③男女共同参画を推進し、女性が活躍するために何が重要と考えられるのか。
④女性ならではの目線・意見は、どういった場面で必要と考えられるのか。

A

村長 ①ほぼ、男女同数でお願いしている。
②現在では行っていないが、今後検討してみたい。
③時間のない女性の、ワークライフバランスも考え、意識の調査・啓発を行っていくことが必要である。
④防災には女性目線が重要である。
女性にしかわからない点も多いと考えられる。



▲男女共同参画の推進を



井藤 稔 議員

子ども安全対策見直しの必要性は

村長・教育長

引き続き見直していく

Q 大川小学校児童
童津波被害の控
訴審判決や新潟市内で
の小2児童被害の殺人
事件などから、児童の
安全対策の見直しが必要と考えるが。

①小学校の防災マニュアルは検討されたか。

A ②下校時等の犯罪被害
防止をどのように指導
しているか。
③今後の予定は。

①防災計画と
学校安全管理マニュアルの2つある。昭和33
年頃からあり、必要の

都度改訂を重ねてきて
いる。今回は、マニユ
アルの変更までは必要
ないと判断した。

困難な時代が乗り切れ
る。議会改革への助力
は惜しまない。」とい
うことだった。

②警察の協力をえて、
不審者への対応訓練を
毎年実施している。
③見守り隊、保護者、
地域コミュニティなど
との連携を強化する。

村長の姿勢について
再度問う。
A 村長 議会改革自体
は議会が進めていただ
くものと考えてる。
行政と議会の相互理
解が一層重要となる。
互いに情報を共有しな
がら参画と協働の村づ
くりを推進したい。
また、今のままでよ
いわけではない。行政
も議会も日々変わって
いく必要がある。意識
改革に努めたい。

議会改革推進への
村長の姿勢は
村長 情報を共有しな
がら推進していく

Q 今議会で、議
会改革に必要な
条例は出そう。

先の議会での村長の
答弁は「行政改革、議
会改革の両方ができて

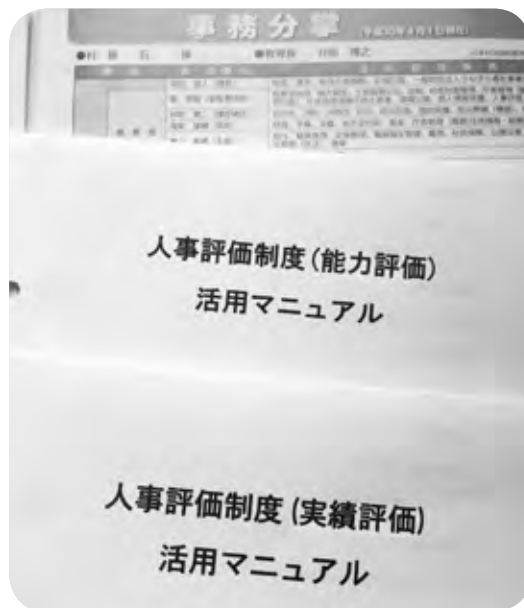
Q

職員の適正な
評価と評価結果
の処遇への反映は、組
織の活性化にとって重
要である。

①評価制度活用マニユ
アル作成のねらいは。
②評価対象者を正規職
員に限定した理由は。
③小学校教職員への活
用状況は。
④村での活用状況と今
後の方針は。

人事評価結果の
処遇への反映は
村長 反映する必要が
ある

A 村長
①職員の能力
開発、育成、意欲の向
上などを目的としてい
る。
②正規職員から始めた
ところ。32年度からは、
非正規職員へも拡大す
る方針。
③任用者が県で、評価
結果も人事に活用され
ていると聞く。
④現在、評価結果によ
る処遇の差は設けてい
ない。今後、処遇に反
映させる必要がある。



▲組織の活性化に生かせるか



▲情報と現場判断がカギ
(小学校避難訓練)



三島尋子 議員

高齢者を支える地域課題は

村長 地域での通いの場が少ないこと



▲生活支援コーディネーター荒島さんを囲んで(上 陽だまり)

Q 地域ケア会議は、五つの機能をもつが、大きくは、個別課題の解決と地域課題の発見である。

村の地域ケア会議からみえてきた地域課題とその課題解決策は。

A 村長 地域ケア会議は月1回開催している。その中で、介護サービス以外に、通いの場が少ないことが課題としてあがっている。

地域サロンなどの集まりや活動の場をつくること。現在、協議体等でニーズ把握をしている。地域の課題を整理し、地域住民スタイルで、相互の助け合い活動の創出など、検討していく。

Q 認知症初期集
中支援チームとは。

A 村長 家族の訴え等により専門職が、認知症が疑われる人やその家族を訪問し、初期の

支援を包括的、集中的におおむね6カ月行い、自立生活をサポートするチームである。

本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう早期診断・早期対応の支援体制を構築することを目的にしている。

Q 要請したサポーターへ、その後の支援は。

A 福祉保健課長 秋ごろに、村民フォーラムを開催する計画。地域の課題や資源について話し合ってもらうことを検討している。サポーターの方に手伝ってもらおうと考えている。

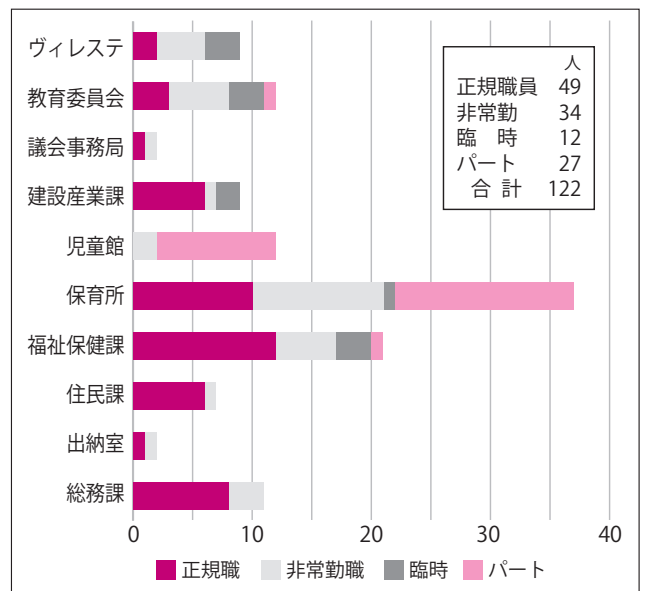
臨時・非常勤職員の適正な任用を

村長 来年9月議会に
条例改正を提案

Q 地方公務員法及び地方自治法の改正により、自治体

役場職員の人数

(平成30年4月1日現在)



A 村長 給料、休暇等については、国から基準が示される。臨時は最長1年で変わるよう、条例改正は、来年9月議会に提案する。任用中職員への説明は、おおむね整った時点で進める。

Q 会計年度職員とは。

A 村長 単年度での雇用で、毎年、書類・面接選考を行うことになる。常勤となり、期末手当・退職手当等の支給市町村職員共済組合保険加入で、1年間だが公務員である。

31年度の採用に臨めるよう、条例改正は、来年9月議会に提案する。任用中職員への説明は、おおむね整った時点で進める。



江田加代 議員



▲子どもたちに最善の環境を
(ひえづ保育所入所式風景)

これでよいのか小規模保育

村長 許可する立場での
意見を言っていきたい

Q 保育新制度がスタートして3

カ年が経過した。小規模保育の評価と課題は。

A 村長

開園当初から、日吉津保育所とさまざま

まな面で連携している。

2歳児の運動会や生活発表会などの交流により、3歳児でいっしょになった時、スムーズに移行できている。

施設環境は基準に

そつた整備をされ、必要に応じて、園庭の整備や施設内の改修などに努めていただいている。

Q

外から子ども

の様子が見えな
い、中から外の景色が見えない状況である。日中の大半を過ごす保育環境としてよいのか。

A

村長

外から見えないことやドアロックについては、このごろの世相を考えると、判断しづらい。

こんな話があったとお伝えはできるし、許可する立場での意見を言っていきたい。

Q

下水道使用料

の減免は、すべての村民に恩恵がある村独自の貴重な制度。10%減免の継続を。

A

村長

下水道使用料などの特別会計は、村の一般会計より毎年数千円円の繰り入れをして運営している状況。

10%減額は、16年から政策的に取り入れたものであり、複数年をかけてもとに戻し、下水道事業も適切に運営していきたい。

応能割と応益割の賦課割合

(単位: %)

保険者	所得割	資産割	均等割	平等割
鳥取市	45.82	6.18	29.52	18.48
米子市	47.21	5.48	28.83	18.48
倉吉市	42.58	7.60	32.15	17.67
境港市	43.87	6.48	30.32	19.33
岩美町	41.38	10.15	34.02	14.45
八頭町	45.45	8.75	30.88	14.92
若桜町	43.56	6.61	32.25	17.58
智頭町	41.38	8.47	32.71	17.44
湯梨浜町	45.11	6.59	31.76	16.54
三朝町	46.34	4.41	31.41	17.84
北栄町	46.38	7.16	31.13	15.33
琴浦町	47.40	7.82	28.72	16.06
南部町	40.21	10.34	35.27	14.18
伯耆町	43.01	10.49	31.99	14.51
日吉津村	46.64	10.15	29.90	13.31
大山町	46.08	7.08	32.24	14.60
日南町	43.16	8.99	32.15	15.70
日野町	39.66	10.25	34.70	15.39
江府町	40.35	10.74	33.08	15.83

出典:平成28年度国民健康保険事業年報(速報値)

払える国保税施策の
確立を
村長 急激な負担を
かけないよう留意

Q

国の激変緩和
措置は6年で終

了する。その後の対策

A

村長

現段階では6年で国の激変緩和の財源は切れるが、県の交

付金が相当残ると見込んでいる。しかし今のよう激変緩和ができるとは考えられない。国も被保険者に急激な負担をかけないよう留意するとの見解。36年以降も県繰入金による激変緩和策の継続は可能としている。



橋井満義 議員

どうする 開発公社の土地交渉から30年

村長 **現在交渉中、年度内には結果を**



▲国道431号南側開発エリア

Q

総務課担当の
問題を次の3点
について質問する。

- ①相手方との土地交渉を6月には示すと言われたが、提示されない。状況説明と、これまでの覚え書きの内容は。
- ②ふるさと納税の返礼品の割合や、地場産品に限定するなど、総務省から通達されている。これらの対応とペナルティー等の条件はあるのか。
- ③国道431号の南北

A

二カ所の開発の進ちょく状況はどうかなのか、個別の説明を求める。

村長

①現在、交渉中であり詳細は控えさせていただきたい。村が農地を取得できないため、農業委員会や農業会議と調整した上で議決をいただきたい。覚え書きは当初のものを含め3回であり、情報開示請求の対象であると認識している。

②返礼品が3割を越え

るとペナルティーが即適用とは認識していないが、本来のふるさとを思う気持ちを大切にしている。地場産品については現状で対処していきたい。

③地区計画に基づいた事業計画をたてて進めている。オリックスはおおむね条件がそろっているが、ウシオはそれに至っていない。今後は県の方向が示されると思う。

農地管理の今後は

村長 **人・農地プランを見直し検討する**

Q

建設産業課担当の問題を次の3点について質問する。

- ①村道側溝の土砂たい積の対応である。すべて村では考えないが、自治会等と相談されないか。
- ②農産品出荷額が50万

円以下の農家に補助金を支出している。その費用対効果をどう認識しているか。

また、今後の方向は。

- ③農地保全について、中間管理機構や個別委託ができていない農地が散見される。村としての対策案は。

また、米作の生産調整を国は手を引く方向にあり、今までの村農政も転換期に直面する。今後の対応は。

A

村長

①道路等の状況により判断していく。今後は自治会とも相談しながら対応を検討したい。

②地方創生の方向も見えないが、金額の大小でなく、効果を見きわめて当初の目的を果たしていきたい。

③今後5年から10年で農業環境は大きく変わると思う。人・農地プランを見直し、農地を今後だれがどのように管理していくか検討していく。



▲増える休耕田

インタビュー

見守り隊のみなさん～

長谷川明子 さん (上一)
 前田日出夫 さん (今吉)
 山田 利夫 さん (上二)
 濱田 伸 さん (今吉)
 井藤 稔 さん (今吉)

見守る活動をされている「子ども安
 せていただきました。



見守り隊が始まったのはいつですか。



塗信さん

塗信さん 平成23年5月だったと思う。小学校が奥田校長のときだった。



高橋さん

高橋さん R431役場線交差点で、2件の小学生の交通事故があり、その対策の一つとして、見守り隊が結成された記憶がある。

いつから参加しておられますか。

高橋さん・塗信さん 15年やっている。

岡本さん 8年くらい。山田さん・大谷さん 2年目になった。

参加のきっかけは何でしたか。



大谷さん

大谷さん 子どもは、事故より犯罪被害が多いと感じていた。日吉津でそんな被害がないようにしたいと思っていた。

高橋さん 日吉津に恩返しをしたくて、何かお手伝いがしたいと思った。

岡本さん 植え込みで出てくる子どもが車から見えなかったり、赤信号で出てくる車があったり危険を感じた。

役場に伝えたが、それから…。

やっていて良かったことは。

岡本さん 小学校を卒業した子が、「じいちゃん」と声をかけてくれる。



岡本さん

塗信さん イオンで出会うことも、覚えていて「じっちゃん」と声を掛けてくれる。

高橋さん 小学校の時に叱った子が中学3年生になっても、きちんと



とあいさつをしてくれる。

1月で80歳になるが、子どもに負けないようにと、元気の素になっている。

大谷さん 保護者さんからお礼を言ってもらえることがある。「やっついてよかった」と思う。

保護者、学校、村へお願いしたいことはありますか。

塗信さん 保護者は、自転車運転の小さい子どもに、ヘルメットをかぶらせて下さい。

全員 中学生の自転車の並進が目につくし、危険を感じる。特に下

校時など。

岡本さん 一旦停止をしなかったり、狭い道をすごいスピードでいく車がある。取り締まりが少ないように思う。(反対の意見もあり。)

高橋さん 交差点などで自転車の正しい通行方法は、その都度注意しているが、学校、保護者でも徹底できないか。

子ども被害の事故・事件防止対策について何か。

大谷さん 境港市では、「子どもたちが下校する時間になりました。」という屋外放送が流れる。これを聞いて角々

村民イン

～子ども安全見守



- 大谷 能宏 さん (上一)
- 岡本 昇 さん (上一)
- 加藤 修 さん (今吉)
- 高橋 健治 さん (富吉)
- 塗信 晴也 さん (下口)

毎日のように、子どもたちの登下校の安全を「全見守り隊」のみなさんに、貴重なお話を聞か

山田さん 私は、条例



山田さん

子どもの安全を見守るための条例が、全国的にできています。見ていただきたい。

山田さん 米子市では、見守り隊の人が自転車のかごに、「見守り中」のプレートをつけて走っている。

に立つ人があったり、農作業中の人も子どもに気をかける。人の目があるというのが大切。集団登下校も検討してみているか。



はこのようなものが良いように思う。

今後も見守り活動を続けられますか。

全員 できるかぎり続けたい。

毎年更新で一年ずつ区切りをつけていく今の方法がいい。気持ち

この広報紙(議会ひえづ)に対するご意見、ご感想は。

高橋さん 興味をもってよく見ている。質疑応答などわかりやすくていい。読みやすいのが一番。

山田さん 質疑応答など、実際はこんなものではないと思うが、簡潔でいい。

そのほか何か。

全員 一年に一回は、校長、教頭・保護者も交えて、意見交換の場を持った方がよい。

大谷さん 隊員の高齢化も進んでいる。10年続けたら表彰されるなど励みになる取り組みを考えていただきたい。

インタビューに参加できなかつた隊員からのメッセージ。



長谷川さん

長谷川さん 見守り日は少ないですが、出会う度に子どもたちの成長を感じます。

濱田さん 子どもたちのために、楽しんで見守りに参加させてもらっています。



濱田さん

インタビューを終えて

街頭で、日々見守り活動を実施していただいている「見守り隊」のみなさんの心意気や、孫世代とのあたたかい交流を知ることができました。健康で、活動を継続していただきますよう祈っています。インタビューへのご協力ありがとうございました。

議会のうごき

全国正副議長

研修会

とき 5月28日(月)・29日(火)
ところ 東京国際フォーラム

研修会は「これからの議会を考える」をテーマに開かれました。

小さな町議会の小さな挑戦など、議会特別賞を受賞された4町議会のユーモアを交えた活動報告に、会場が盛りあがりました。

また、国土交通大臣官房建設流通政策審議官の、青木由行氏より「地域の建設業の現状と課題」についての、講演がありました。

鳥取県内の企業の実態をつたえ、充実した意見交換会になりました。



▲鳥取県企画部長として片山知事を支えてこられた青木由行氏



西部町村正副議長 ・局長研修

とき 7月12日(木)
ところ 日南町

西部町村の各議会から、質問事項や研究課題を持ちより、議会の活性化につながる当面の課題等について意見交換しました。

編集後記



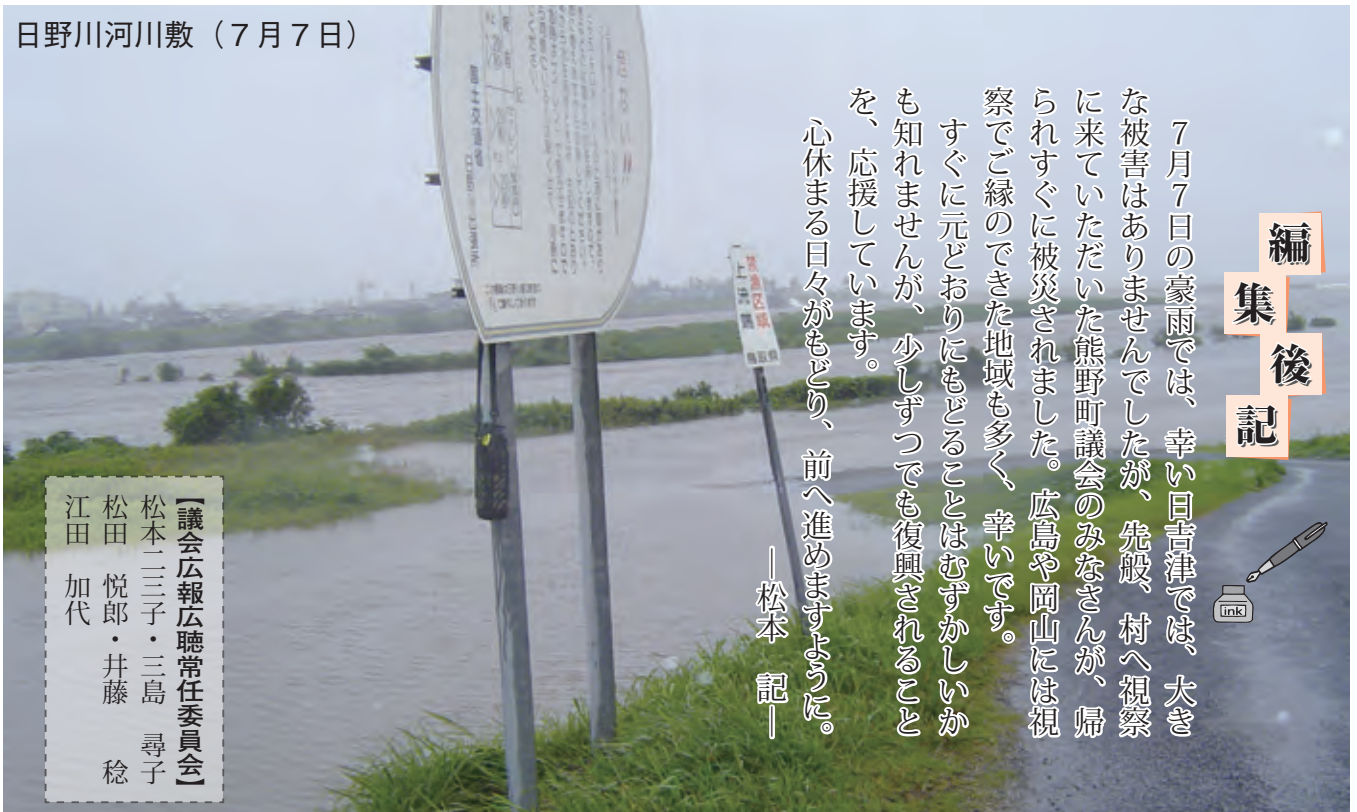
7月7日の豪雨では、幸い日吉津では、大きな被害はありませんでしたが、先般、村へ視察に来ていただいた熊野町議会のみなさんが、帰られすぐに被災されました。広島や岡山には視察でご縁のできた地域も多く、幸いです。

すぐに元どおりにもどることはむずかしいかも知れませんが、少しずつでも復興されることを、応援しています。

心休まる日々がもどり、前へ進めますように。

— 松本 記 —

日野川河川敷 (7月7日)



【議会広報広聴常任委員会】
松本 三子・三島 尋子
松田 悦郎・井藤 稔
江田 加代